

よりよいまちに 一般質問



一般質問とは…議員が市政に対する疑問をただし、執行機関の見解を求めるとともに、自己の意見を述べるものです。枚方市議会では、通常、6・9・12月の各定例会月議会でされます。



録画映像は
こちらから

施設老朽化の対応 着実な備えを



**大阪維新の会 枚方市議会議員団
妹尾正信**
資産の老朽化を示す有形固定資産減価償却率について、他市比較も含め現状の認識を聞く。
なお、公的施設の老朽化への着実な備えと行政改革の取組を要する。
答弁 平成30年度と同減価償却率は77.5%である。平成29年度の数値で

夏休みの大幅な短縮 子どもの負担軽減を



**日本共産党議員団
広瀬ひとみ**
新型コロナウイルスの影響による長期の臨時休業から学校が再開したが、学習指導要領に定める標準授業時間を確保するためには、市立小・中学校の夏休みが25日間短縮されて他市と比べ大々短縮されるなど、これは学校がしんどく

多胎児家庭への支援 利用者の負担軽減を



**公明党議員団
一原明美**
多胎児家庭への支援として、ヘルパー派遣やファミリーサポートセンターの事業があるが、子育てをしている中で、手が複雑で利用しにくいと考える。利用者の負担軽減のため電子申請や妊娠時利用登録できる環境整備の必要があるの

市民と芸術家を支援 文化芸術事業の発展を



**自由民主党枚方創政会
加藤治**
感染症により芸術家が十分に活動できないなど、文化芸術分野では深刻な影響が出ているが、今後の文化芸術の発展に向けた市の取組を聞く。
なお、解散後の枚方市文化国際財団の財産を本市の国際芸術の発展に役立てるよう要望する。

犬猫殺処分ゼロに向け 府内での相互協力を



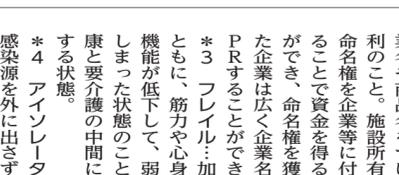
**連合市民の会
奥野美佳**
市民に動物愛護に興味を持ってもらうために、以前に市民から標語を募集しポスターを制作する取組を提案したが、その後の進捗状況を聞く。
また、犬猫殺処分ゼロに向けて、府内自治体において殺処分される前に他のセンターで受け入れ

地域との情報共有に ICTの活用を



**大阪維新の会 枚方市議会議員団
泉 大介**
市から地域に対して、郵送やEメール等で情報提供を行っているが、今回の感染症拡大をきっかけに、LINEなどのICTを活用すべきと考え、見解を聞く。
なお、第2波の到来に備え、地域で情報が伝達されるネットワークづく

市民の健康を守るため オンライン診療検討を



**日本共産党議員団
松岡ちひろ**
市立ひらかた病院は、府内に6つある感染症指定医療機関の一つとして重要な役割を果たす一方、入院・外来収益が前年4月比で約25%減少したという報告もある。そこで、新型コロナウイルス感染症対策の中で、収益悪化や衛生材料不足

に対する、府からの支援内容を聞く。
なお、患者が院内感染の不安を抱き、受診を控える事態が全国的な問題となる中、同病院では受診控を行ったというが、電話診療を行ったというが、これでは学校がしんどく

機能が発揮できる 体制等の整備を

**日本共産党議員団
野口光男**
保健所では、新型コロナウイルス感染症への対応で保健師の時間外勤務が最長月18.5時間となり、また、執務スペースも他の施設を間借りする事態となった。機能が発揮できるような職員体制と執務環境を整備すべきと考えるが、見解を聞く。
答弁 新たに採用した保健師を保健所に配属し、体制の強化に努めている。

人工内耳の買換え 市独自の助成を

**公明党議員団
上野尚子**
人工内耳の手術に合致助成される。価格は対しては国の助成があるというが、同時に装着する体外機に係る助成の取扱いと価格について聞く。
なお、負担軽減のため、破損等に伴う体外機の買換え時の市独自の助成制度の実施を要望する。
答弁 体外機については、最初の手術時に装着する場合と、この4月からは国の定める修理を行う場

経済的困窮者への 相談体制の充実を

**自由民主党枚方創政会
田口敬規**
今般の新型コロナウイルス感染症拡大により経済的困窮に陥った人に対し、住居確保給付金と緊急小口資金の合同交付を実施したというが、設置日が遅過ぎたのではないかと考える。
答弁 北都、中部、東部地域では、小・中学校の余裕教室や市有施設の活用を基本に、整備場所の検討、調整を行っている。

特別定額給付金 市長が先頭に立ち 早期の給付を

**連合市民の会
番匠映仁**
特別定額給付金事業では、不安を抱える市民への給付が遅れていると懸念している。市長が先頭に立ち、少しでも早く給付できるように努めるべきではないかと考える。
答弁 これまで誰も経験したことのないコロナ禍で、早期に給付するとの考えで万全を期してきた

都市計画道路 整備の進め方は

**連合市民の会
番匠映仁**
都市計画道路を整備する際、工事スケジュールの工夫等により、早期に事業効果を現れさせることも重要だということが、具体的な進め方を聞く。
なお、御殿山倉庫は、

適切な医療提供と 人権に配慮した対応を

**連合市民の会
奥野美佳**
新型コロナウイルス感染症拡大の中、感染者医療従事者等への不当な差別や人権侵害が見られた。感染症対策に伴う困難の軽減や、その組立時の支援も必要と考えるが、見解を聞く。
なお、感染症対策の訓練など地域防災力の向上

コロナ禍の学力保障 明確な対応を

**大阪維新の会 枚方市議会議員団
岩本優祐**
コロナ禍での学校の取組は、一つ一つが家庭に伝わらず、子どもや保護者からの信頼感を大きく損なっていると感じる。休業期間中の取組等に対する総括を聞く。
答弁 こうした非常事態では、保護者の求めをしっかりと受け止め、統一

的な対応、指示を明確にしていくことが安心感につながると深く反省している。また、授業や家庭学習では、確実な学力の保障に努めていく。
◆その他の質問
○主体的、対話的な学び
○主体的、対話的な学び
○主体的、対話的な学び

用語の解説
*1 人工内耳…聴覚障害児者で補聴器の装着効果が少ない人が、音を電気信号に変換して神経に伝えることで音や言葉の感覚を得ることができ、医療機器のこと。手術によって頭部に埋め込む体内機(コイル)と、頭や耳に装着する体外装置(音発信装置)の2つで構成される。
*2 ネイミングライツ…人の多く集まるスポーツ施設や文化施設等に企業名や商品名をつける権利のこと。施設所有者は命名権を企業等に付与することで資金を得ることができ、命名権を獲得した企業は広く企業名等をPRすることができる。
*3 フレイル：加齢とともに、筋力や心身等の機能が低下し、弱ってしまった状態のこと。健康と要介護の間にある状態。
*4 アイソレーター…感染源を外に出さずに患者を搬送できる装置のこと。本市では、平成27年にカー付き車椅子型アイソレーターを配備している。
*5 サイクルングの途中、タイヤへの空気入れや水分補給のために気軽に立ち寄ることができ、休憩スポットのこと。他市では、サイクルステーションに観光情報や掲示などの事例もある。
*6 ひらかた生き生きマイレージ事業…高齢者の社会参加を支援し、介護予防や健康維持につながるため、サポーター登録をした高齢者が特別養護老人ホームなどの施設での支援活動を行い、実績に応じてたまったポイントの換金等ができる事業のこと。
*7 市街化調整区域…都市計画法により定められた都市計画の一つで、市街化を抑制すべき区域のこと。この区域内では開発行為や建築行為などが許可制によって制限される。
*8 コワーキングスペース…様々な業種・所属先の人たちが同じ空間を共有しながら働くことができる施設のこと。